田園のまち矢吹から
今年も開拓のうた 発売！

夏は真っ青な空を水面に映し、
秋はいちめん黄金色の実りの野に
遠くに里山をのぞみ、大地に敷き詰めた
ような田園の広がりそのものが
「開拓のまち」矢吹町のシンボルです！

広報すかっと はじまります!!
市や町・村のボーダーをちょっとだけ超えてお届けする新シリーズ「広報すかっと」。意外と知らない近くのまちの新しい取り組みや気になる情報を、不定期に発信していきます！お楽しみに！

「開拓のまち 矢吹」の歴史

矢吹町の中心部は江戸時代の矢吹宿を礎とした商店が並ぶ旧市街地ですが、面積の半分以上を占めるのは緑豊かな農地です。この町を含め、阿武隈川とその支流に囲まれたエリアは、かつては矢吹ケ原、古くは行方野（ゆきかたの）と呼ばれた原野でした。「平たんな台地で川も近いが、水を取るには川底が低く、昔から水不足に悩まされてきた」というこの地の景観が大きく変わったのは、戦後になってから。明治期からいくども計画が持ち上がっては断念してきた羽鳥疎水の完成によって、安定して水を確保できるようになったためでした。

戦後の開拓史に「三大開拓地の一つ」と記されるほどの成功をおさめた矢吹ケ原の開拓。この町の美しく広がりのある田園風景は、荒れ野を豊かな大地に変えた先人たちの開拓精神に支えられています。

明治時代、矢吹ケ原は宮内庁管理の御料地で皇族の御狩場に。

この町の開拓スピリッツを呼び起こしたい！

薄葉好弘さんは、「開拓のまち」をキャッチフレーズに動き出した町の活動をけん引する一人。姉妹都市である東京都三鷹市との交流に長く関わり、そのなかで地元の酒米を使い地元で醸す日本酒「開拓のうた」の開発を発案し、町と生産者、酒蔵を繋ぎ、プロジェクトを進めてきました。

「矢吹には、開拓の恩恵を受けて誇れるものが沢山あるのにアピールする手立てが少なかった」という薄葉さん。町外の人が喜ぶロケーションの美しさは、総面積1400ヘクタールと中通りでトップの水田地があってこそ。羽鳥の水と肥えた土、寒暖差のある気候、農家の技術が結集した米や野菜、果物はどれも安定した品質で美味。宿場町や開拓地だった歴史から、新しいヒトやコトを受け入れる懐の深さもこの町にはあります。ただし「地元では当たり前すぎて良さに気づけていない」とも。そのため毎年この時期に「開拓のうた」が出ることで、町の人の開拓心を揺り動かすことができれば！と期待しています。

未来を切り拓く脈動が響きはじめた！

一方、町では以前から取り組んできた事業や活動を「開拓」というテーマでくくり直し、内容を掘り下げて新たな動きに変えていこうという機運が生まれています。たとえば、町民の体験農園を「フロンティア農園」という呼称に変え、農業短期大学校と連携して農作業の楽しさや難しさを伝えたり、三鷹市でのイベント出店、学校給食の矢吹産米の提供、子どもたちを招いた米作り体験等で「開拓のまち」をアピールしたり。一つ一つに「開拓」という軸を通すことで、「関わる側も情報を受け取る側も「開拓のまち」をはっきりとイメージできるようになってきました」と町の担当者。さらに、「若手のメンバーから「開拓のうた」ラベルでお米や産品をブランド化してみたいという話が出てきました。実現は簡単ではありませんが、嬉しいことですね」と薄葉さん。およそ100年前から通奏低音のように流れ続ける矢吹の開拓スピリッツは、いま再び脈動をはじめているようです。

神田農事組合　薄葉好弘さん
「開拓のうた」のネーミングは全国公募で400件以上から選ばれました。お酒の名前っぽくないでしょ？でも、それでいいんです。「開拓」をテーマにみんなで作って発信することが大事。もちろん、おいしさに妥協なしです！

地元のお米で作った地元のお酒「開拓のうた」
今年で7シーズン目、日本酒ファンはもちろん、女性もワイン感覚で楽しめると人気で、毎年3月末には完売！地元酒店のほか、酒販取り扱いがある町内のコンビニエンスストアで購入可。

神の田んぼで、精魂込めて！

姉妹都市交流事業「神の田んぼで米作り体験会」
田植えや稲刈り、ニジマス掴みや餅つきなど趣向を凝らした交流会で、開拓の恵みを発信！

▲三鷹市の子どもたちと田植え体験

酒米生産者　藤井貴之さん
神田地区の田んぼに囲まれた白髭神社に面した通称「神の田んぼ」で酒米「夢の香」を栽培。酒米づくりを始めてから5年目にして初めて一等の評価を得ることができました。酒蔵の杜氏さんも、酒米の一等は1年間に見るか見ないか位、少ないと言っていたので努力した甲斐がありました。三鷹市との交流はもちろん、来年も少しずつ工夫し、より良い酒米を収穫出来るよう頑張りたいと思います。

▼神田地区と白髭神社
町の東部に位置する神田地区は周辺に古代の遺跡が多く、六世紀後期の豪族のものとされる鬼穴古墳があります。その鬼穴古墳の近くにある白髭神社は田んぼに囲まれた場所にあり、祭神は猿田彦命。みちひらきの神ともいわれますが、水に関係する神かもしれません。

できたてのフレッシュなおいしさを楽しんで！
大木代吉本店　大木由紀子さん
地元の皆さんに支えられてきたご恩をお返ししたいという思いで、当蔵で初めて矢吹産米で仕込んだお酒です。マスカットのような爽やかな香り、お米のうま味がありながら軽快で飲みやすく、どんなお料理とも相性の良い味わいです。23年度新酒の発売は12月中旬予定。新酒ならではのフレッシュな味わいをぜひお楽しみください。

四季を彩る「大池公園」

23年度新酒の発売間近！ショッピングとあわせて立ち寄って！

商工観光課　松山京右さんの推しスポット！
大池公園は町内に数多く残る農業用水のため池。
夕日の時刻、マジックアワーがおすすめです。冬は白鳥もやってきます！

お問合せ
日本三大開拓地 矢吹町
西白河郡矢吹町一本木101
0248-42-2119（商工観光課）